

埼玉県立大学 令和6年度業務実績報告書の概要

自己評価結果一覧

項目	S	A	B	C	計
	年度計画を上回って実施している	年度計画を十分に実施している	年度計画を十分には実施していない	年度計画を実施していない	
I 教育・研究等の質の向上	2	68	0	0	70
II 業務運営の改善・効率化	0	13	0	0	13
III 財務内容の改善	0	9	0	0	9
IV 自己点検・評価	0	6	0	0	6
V その他	0	8	0	0	8
合計	2	104	0	0	106

S評価とした項目

◆34 キャリアカウンセラーによるキャリア相談及び学生担任教諭等による個別面談等により、学生の進路決定状況を把握し、学生の適性や希望に合った助言・指導を連携して行う。

→ きめ細やかなキャリア支援により進路決定率99.6%を達成した。

◆36 国家試験、教員及び公務員採用試験の合格に向けた職種ごとの対策講座を充実させるとともに、個別相談などを実施し、学生への学習指導を行う。

→ 国家試験は9職種中6職種で合格率100%を達成した。

埼玉県立大学 令和6年度業務実績報告書の概要

主な取組み

I 大学の教育研究等の質の向上に関する取組

① 教育に関すること

- ・ 学士課程においては、新たにカリキュラム検討部会を設置し、次期カリキュラムの検討を本格化した。大学院においては、3つのポリシーの見直しを行い、ホームページ等で学内外に公表した。
- ・ 埼玉大学と新たに大学院レベルでの単位互換に関する覚書を締結し、大学院教育の質向上と学生の学習機会の拡大を図った。
- ・ 新たに設置したIPEセンターにおいて、外部有識者5名の「IPEアドバイザー」を委嘱し、IPW実習の改善に資する提言を得た。

② 学生への支援に関すること

- ・ きめ細やかなキャリア支援により進路決定率99.6%を達成したほか、国家試験合格率は9職種中6職種で合格率100%を達成した。
- ・ 低学年時から県内就職に対する関心を高める講座等を実施した。また、指定校推薦採用選考枠等を活用し合計で26名を県内の病院等に推薦した。

③ 研究に関すること

- ・ URA機能による外部研究費の獲得支援や大型研究の遂行支援を行い、科研費の採択件数68件、新規採択率21.5%となった。

④ 地域貢献、産学官連携及び国際交流に関すること

- ・ 「オープンカレッジ講座」(35講座)や高校出張講座(54校)等、大学の教育研究資源を活用することで、県民生活の向上及び地域社会の活性化に貢献した。
- ・ クイーンズランド大学UQカレッジと改めて協定書を締結し、コロナ禍以降の国際交流活動再開について確認した。再開したチューリッヒアプライドサイエンス大学、クイーンズランド大学UQカレッジとの留学プログラムに14名の参加があった。

II～V 業務運営・財務内容等の改善及び効率化に関する取組

- ・ 施設貸付の促進により、自己収入の増加に努めた(貸付件数:228件、利用料収入:1,824万円)
- ・ 開学25周年事業として、特別講演会等を実施し、本学のプレゼンス向上に努めた。

埼玉県立大学 令和6年度業務実績報告書の概要

第3期中期目標・中期計画に定める数値目標の達成状況

数値目標		令和6年度実績 (前年度)	達成状況の分析
進路決定率	100% (各年度)	<u>99.6%</u> (99.8%)	前年度から0.2ポイント低下したが、面談等による進路未定学生への個別支援等により、高い進路決定率を達成した。
県内就職率	60% (最終年度)	<u>56.9%</u> (57.1%)	学部の県内就職率は0.8ポイント増加したが、大学院は減少したため、全体として前年度から0.2ポイント低下した。
科研費採択件数	65件 (各年度)	<u>68件</u> (79件)	科研費の申請件数及び採択率の減により採択件数が前年度から11件減少したが、目標値は上回った。
自主財源比率	44% (各年度)	<u>45.8%</u> (44.8%)	目的積立金の取り崩しや学生納付金収入の増加等により、前年度から1ポイント上昇した。
法人固有職員比率	50% (最終年度)	<u>40.5%</u> (37.8%)	県からの派遣ポストのうち、1ポストを法人固有職員としたため、前年度から2.7ポイント上昇した。
女性管理職等比率	30% (各年度)	<u>33.3%</u> (28.9%)	男性管理職が1名減り、女性管理職が2名新たに就任したため、前年度から4.4ポイント上昇した。